

さつまいもを収穫しました！

11月6日、2年生がサツマイモ掘りを行いました。

PTAの皆様にご支援いただいた土、児童による草取りや蔓返し、先生方や地域ボランティアの皆様による水やりなど、多くの方々のご協力おかげで、十分な量を収穫することができました。子どもたちは宝探しをしているように目を輝かせながら、サツマイモ掘りを楽しんでいました。

収穫したお芋は大小さまざまで形もいびつ、虫食いの跡があるものもありましたが、ひと月の追熟を経て、子どもたちは嬉しそうに持ち帰ってくれました。「サツマイモご飯にして食べたよ」「週末にチップスを作ったの」「スーパーに並んでいるみたいに作るの難しいんだねってママが言ってたよ」など、家庭での様子をたくさん教えてくれました。

ご家庭で学びの締めくくりをしていただけたようで、嬉しく思います。

今年度は、暑さを気にするあまりに夏場に複数人で水をあげすぎてしまったり、サツマイモの成長が早すぎて蔓返しの時期が遅れてしまったりと、反省点もありました。これらを次年度に活かそうと、地域のボランティアの皆様も意欲を高めてくださっています。



「お花畑の春よ、来い！」イベントを開催しました

10月26日と11月9日の2日間にわたり企画した活動は、残念ながら天候に恵まれず、26日は中止、9日は雨の中での作業となりました。それでも国領サポートクラブの皆様を中心に、児童1名を含む11名が集まり、ビロティで雨をしのぎながらサツマイモの蔓を廃棄用の袋に詰めたり、プランターに花の苗を植えたりしました。

雨がやんだわずかな時間を見計らって、畑の整備やカラシナの種まき、ネモフィラの苗植えなど、春に向けた準備も進めることができました。

畑の一面を卒業式や入学式の際に子どもたちや保護者の皆様が集える「映えスポット」にしようと計画しています。今後も地域の方々と協力しながら手入れを続け、子どもたちの学びと学校行事を彩る場に育てていきたいと思っています。



花壇には

1年生はビオラとチューリップを植え、2年生はカブを育てています。家庭科室前にはネモフィラを植えました。

学校や地域学校協働本部で購入したチューリップの球根に加え、校長先生からいただいたチューリップやムスカリの球根も、春を迎えるころには、花壇や正門前や昇降口など、さまざまな場所を彩る予定です。楽しみにしてください！



お花の名札

国領小にはたくさんの植物が育っています。みなさん、かわいらしい名札にお気づきでしょうか。

これらは地域の方の手作りで、子どもたちに植物の名前を覚えてほしいという思いを込めて作られました。いったい何個あるのか、ぜひ探してみてくださいね。



コミュニティ・スクールである国領小学校では「学校と地域による畑・花壇の協働管理」に取り組んでいます。学校運営協議会による全面バックアップを受けて、教職員・児童・保護者・地域のボランティアのみなさんが力を合わせてお世話をしています。

この「国領グリーンレター」では、そんな畑や花壇の様子をお伝えします。

児童のみなさんにはもちろんのこと、保護者の皆様や学校施設を利用する皆様にも関心を持っていただき、植物を通してコミュニティの輪が広がることを期待します。